

冲高生の軌跡（キセキ）

令和3年10月15日

情報元：南日本新聞社
日付：令和3年10月14日

最優秀賞に 奥ノ蘭さん

県高文連弁論大会

第5回鹿児島県高校文化連盟弁論大会が13日、鹿児島市のサンエールかごしまであった。14人が出場し、鶴丸高校2年の奥ノ蘭愛美さん（写真）が最優秀賞に選ばれた。

奥ノ蘭さんは「食べることは生きること」と題し、高校入学と同時に拒食症を患った経験について話した。高校の制服をかわいく着こなすためダイエットを開始。10kg減った頃から体に異変が現れ、病院に行き、家族らの献身的な支えで乗り越えていったことを



告白。「大切な人がそばにいてほしい。食べることが命をつなぐかけがえのないものであることを知ってほしい」と訴えた。

（豊島浩一）

ほかの主な入賞者は次の通り（敬称略）。

優秀賞 尾上彩音（出水2年）濱田千奈（同3年）池山姫季（沖永良部2年）

※奥ノ蘭さんは来夏、東京である全国大会、奥ノ蘭さん、尾上さん、池山さんは今年12月、長崎市である九州大会の出場権を獲得。